



このページは写真を撮って保存しておいてね!



## 災害用伝言ダイヤルの使い方



音声メッセージで伝えたい

### 災害伝言ダイヤル「171」

- ① 171をダイヤル
- ② 録音は1、再生は2を押す
- ③ 相手先電話番号を市外局番から押す
- ④ 伝言を録音または再生

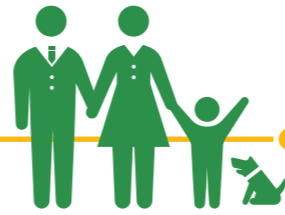


災害音声お届けサービスを使いたい

携帯電話やスマートフォンから家族の携帯電話番号を入力すると、録音した音声メッセージが相手の電話に送信されます。

(利用方法は各携帯電話通信会社によって異なります)

## 連絡先一覧



1. 緊急避難場所 :

2. 家族の集合場所 :

3. の携帯電話 :

4. の携帯電話 :

5. の携帯電話 :

6. の携帯電話 :

◎新宿野村ビル地下1階防災センター-緊急時連絡先:03-3345-0620

## 災害時避難場所



※西新宿一丁目は安全性が高い為、避難場所(広域)とされており、有事の際は“地域内残留区域”に当たりますが、避難時集合場所の参考として新宿中央公園をお示し致します。



# ディジェスト版 / 防災ハンドブック



新宿野村ビル入居企業の皆様に最低限知っておいてほしいことだけをまとめました。

新宿野村ビル

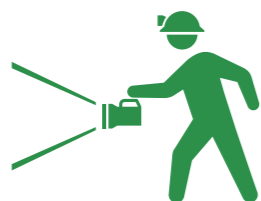
## 火災発生時の対応



お願い！ 排煙口手動引手を引いてね！

### 停電したら？

非常照明は20時間。  
必ずオフィス内に懐中電灯を用意してね！



### 避難階段で逃げられない場合は？

トイレ裏の避難はしごで下方階へ。  
3階から救助袋で屋外へ脱出できます。  
3、12、19、26、33、40階には避難デッキが設けられています。



## 避難の基本順序

### ①とにかく早く逃げる



初期の火事の場合は煙がそこまで昇らず、危機感を感じにくい傾向にあります。大事なものを持って逃げようとして、周りの人に合わせて待機してしまったりすることで逃げ遅れてしまいます。

### ②下に逃げる

煙の「上に昇る速度」はとても早く秒速5mと言われ、人間が階段を昇る速さの比ではありません。煙と逆方向の下に必ず逃げましょう。下の階に近づくことが出来ないという場合は、極力火元の階から遠い階まで移動して下さい。



### ③火元の部屋のドアや防火扉を閉める

避難者の最後の人は、火元の部屋のドアや防火扉を閉めましょう。空気が通る道を遮断し火が燃え上がるのを防ぎ、遅らせることができます。また、ドアを開めることで煙の流れも防ぐこともできます。



### ④絶対に戻らない

火事で亡くなった人の1.8%が避難したにも関わらず再進入したことが原因で亡くなっています。どのような場合であっても、再進入してはいけません。

## 煙による避難姿勢

### ①低い姿勢で逃げる



煙は空気より軽いため、必ず天井から覆っていきます。避難する際は低い姿勢になって避難しましょう。煙が天井を覆うと次は、側面を伝って下に降りていきます。煙が下に降りてくる前に避難しましょう。

### ②口を覆う

避難する際は、口をハンカチや服で抑えて避難しましょう。この際にハンカチを濡らさないほうが良いでしょう。深呼吸はせず必要最低限の呼吸で避難しましょう。

### ③息を止めて走らない

息を止めて走ると多量の酸素が必要になり、深い呼吸をしてしまいます。深い呼吸は一度に大量の煙を吸い込むので、一度の呼吸で意識がなくなることがあります。



### ④壁を触りながら避難する

煙が下に降りてくると視界が悪くなってきます。前が見えない時は、壁を触りながら避難しましょう。



## エレベーターについて



火災が発生した場合は？

避難階である1階に着床します。

火災が発生した場合、1階へ着床するシステムを搭載しております。



地震・停電が発生した場合は？

最寄階に停止します。

ただし、想定以上の揺れを感知した際は、その場で停止する場合があります。



## 防災装置について

### AED



急病人がいた場合、AEDはどこにあるの？

地下1階防災センター・1階北西側エントランス・49階中央階段付近に設置しています。



緊急地震速報について

気象庁の予測到達震度が5弱以上の場合、全館に自動的に緊急地震速報が鳴動し、エレベーターの管制運転を行います。

体が不自由な方や歩行困難な方の階段での避難方法は？



階段避難器具をご利用ください。

エレベーターが使用出来ない場合に、体が不自由な方や歩行が困難な方が階段で避難する際に使用する器具です。11・18・25・32・39・47・48・49階の8箇所に設置しております。

日本初の制震装置「デュアル TMD-NT」の設置と、建物安全サポートシステム「揺れモニ」の導入



建物最上階(52階、53階部分)内に TMD (1基700t) を2基設置しています。建物の揺れと逆方向に動く重りにより、建物の揺れ時間が約50%、揺れ幅を約20~25%低減する事ができます。

